

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
16	山下いづみ（19）	<p>1. 多文化共生・国際化推進に向けて</p> <p>本市では、「心通い合う多文化共生のまち ふじ」を目指し、富士市多文化共生推進プランの下、平成28年度から令和2年度までの5年計画で事業が行われている。</p> <p>平成28年には約4500人であった本市の外国人人口は、令和2年9月1日現在で、5912人、3390世帯になっている。</p> <p>この5年の間には、新在留資格の創設（2019年4月）や、日本語教育推進法（文化庁所管）が成立（同年6月）するなど、国の外国人人材受入れ・共生のための対応策が出されている。</p> <p>このような中、今年に入り、新型コロナウイルス感染症により雇用情勢が悪化し、富士市に暮らす外国人労働者の生活にも直撃している。今後の多文化共生・国際化推進施策が今まで以上に住民に役立つものであるように、以下について質問をする。</p> <p>(1) コロナ禍において</p> <p>① 外国人からの相談件数は。内容は。</p> <p>② 対応はどのように行ったか。</p> <p>③ 今後、必要な対策と強化すべき対策は何か。</p> <p>(2) 多文化・国際化推進の取組について</p> <p>重点を置いて行っていることは何か。</p> <p>① 国際交流ラウンジ</p> <p>② 学校</p> <p>③ 病院</p> <p>④ 子育て、ごみ出し、防災、騒音対応などの生活面</p> <p>(3) 今後の取組について</p> <p>① 交流の機会や互いの文化の理解を深めるためにどのような事業を検討しているのか。</p> <p>② 市内にある外国に関連した場所を生かしてはどうか。</p> <p>F I L Sや飲食店、商品などを扱う店を表示したマップの作成やそれらの場所に訪れ交流の機会をつくる（仮称）富士市多文化パスポートを作成してはどうか。</p> <p>③ オンラインを活用した姉妹都市、富士市に暮らす外国人の出身国の紹介や交流を行ってはどうか。</p>	市長 及び 担当部長